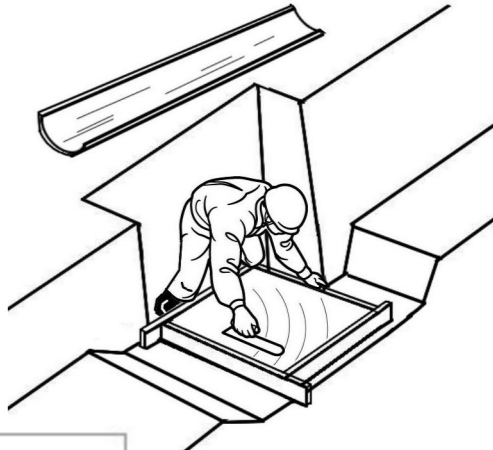
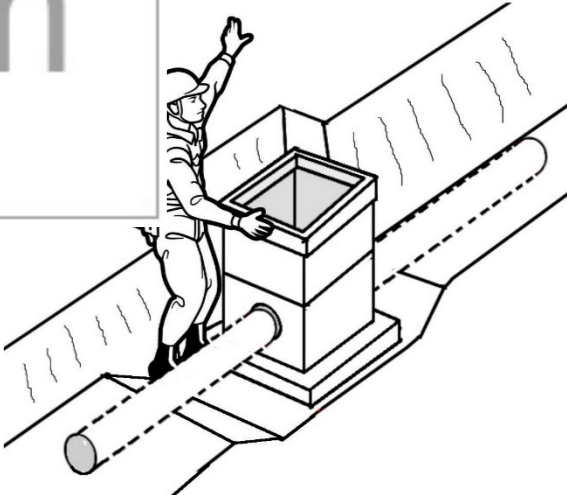


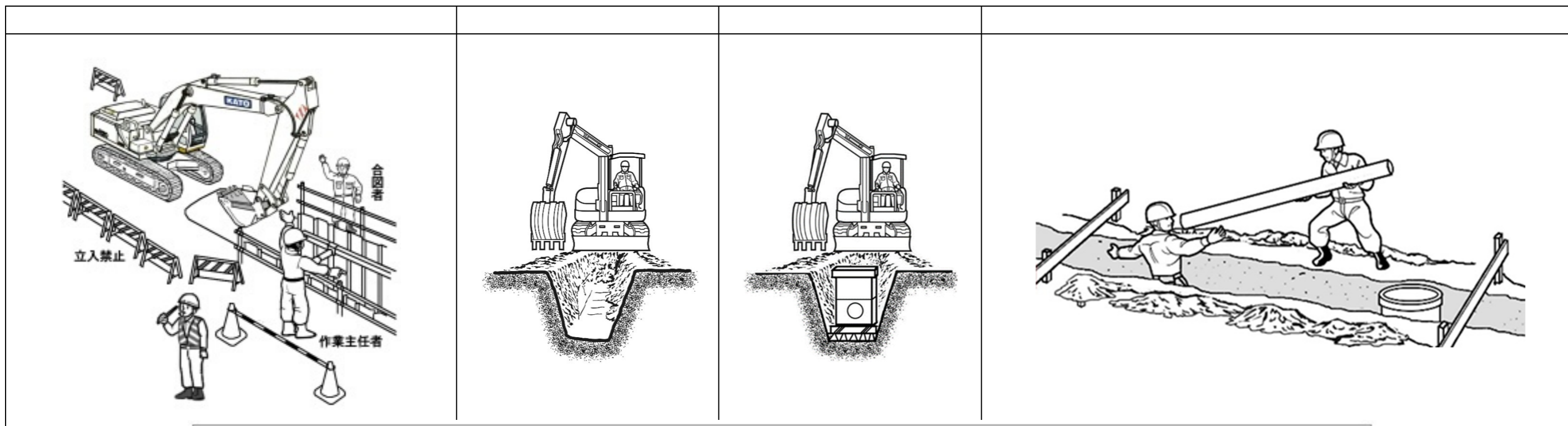
作業手順書		作業名	屋外排水管理設作業	必要な資格等	<ul style="list-style-type: none"> ・地山掘削及び土止め支保工作業主任者 ・玉掛作業特別教育修了者 ・研削といし取替え・試運転作業特別教育修了者 ・移動式クレーン運転技能講習修了者 ・誘導者
工種	機械設備工事	使用機械	クレーン機能付きバックホウ、ランマ、高速カッター等		
会社名	有限会社 工業	使用工具			
職長名	山田 太郎	保護具	保護帽、安全带、安全靴、手袋、安全用ゴム長靴、保護めがね、防塵マスク		
作業人員	5名	使用材料	人工桷、改良桷、骨材、セメント等		

作業区分	作業工程	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考	
準備作業	1. 作業前のミーティング	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員の体調不良が原因のトラブル発生 ・保護具未使用による労働災害の発生 ・立入禁止箇所に入ってケガをする。 ・勝手な方法、手順で作業しケガをする。 	3	2	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員の健康状態を確認する。 ・作業服装を点検する。(服装、保護帽、安全带、安全靴等) ・作業場所、作業環境の状況を説明する。 ・作業分担、内容、方法、手順を説明し、危険予知活動を行う。 	職長 作業員 職長 職長	3	2	5	2		
	2. 有資格者の確認													
	3. 機械器具等の点検													
	4. 仮設備等の点検	<ul style="list-style-type: none"> ・安全装置等の作動不良による事故 ・クレーンの転倒事故 ・つり荷の落下事故 					<ul style="list-style-type: none"> ・電工ドラムは3Pであることを確認する。 ・クレーンの始業前点検 ・クレーンの作業半径能力、機器重量を確認する。 ・玉掛用具の点検 	オペレーター						
	5. 作業場所の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・安全通路・昇降路外を使用しケガをする。 ・開口部から墜落する。 ・不良仮設機材の使用による労働災害の発生 	6	2	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・安全通路および昇降設備があることを確認する。 ・バリケード、安全標識等を整備する。 ・開口部(床面、側面)の防護・養生がなされていることを確認する。 ・使用機材は認定品の表示(ラベル・刻印)が付いていることを確認する。 	職長 作業員 職長	6	2	8	3		
		<ul style="list-style-type: none"> ・作業場所周辺でつまずき転倒する。 ・その他作業場所の悪条件による労働災害の発生 	6	2	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・作業場所周辺の段差・障害物の有無を確認する。 ・作業場所周辺の整理・整頓をする。 ・作業床が水平であることを確認する。 	作業員 作業員	6	2	8	3		

<https://www.sekouya.com>

作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考		
本 作 業	1. 荷取り作業	・荷崩れし、手足を挟む。	6	4	10	4	・荷を高く積まない。転がる物は歯止めをする。	作業者	6	2	8	3	 ステコン均し		
		・搬入車両が動き荷台で作業中に転落する。					・出来るだけ平坦な場所で停車し、車止めをする。	作業者							
		・作業中、通行人に接触する。					・作業範囲の立入り禁止措置。	職 長							
	2. 重機の誘導	・他職の作業員と接触。	3	2	5	2	・誘導員を指名し、所定の場所に誘導する。	誘導員	3	1	4	1			
	3. 掘削	・土砂の崩落により下敷きになる。	6	2	8	3	・法肩の近くに土砂を盛らない。 ・地質、地盤により土止め支保工対策を実施する。	作業主任者	6	1	7	2			
		・重機の転倒、作業員がまきこまれる。					・掘削角度は 75° 以下 (2m ~ 5m 未満) にする。	作業主任者							
	4. 柵底部、管路														
	5. 碎石敷き込み														
	6. 転圧・レベル														
	7. 捨てコンクリ														
	8. 柵の管口加工	・研削時に粉塵が目に入る。	3	2	5	2	・保護めがねを必ず装着する。	作業者	3	1	4	1		 まず据付	
・高速カッターが振られ歯が体に触れる。		資格者													
9. 柵の据付	・つり荷が落下し、人に当たる。	6	2	8	3	・玉掛資格者が行う。	玉掛者	6	1	7	2				
	・荷が振れて、人に当たる。					・つり上げ、旋回、つり下げはゆっくり行う。 ・介錯口 - プを使用する。	玉掛者 補助者								
10. 管の敷設	・つり荷が振れて人に当たる。	3	2	5	2	・つり上げ、つり下げはゆっくり行う。	オペレ	3	1	4	1				
11. 養生蓋の取り付け	・蓋がずれて、足をとられる。	1	2	3	1	・ずれ止めを取り付ける。	作業者	1	1	2	1				
12. 管路、柵周囲の埋め戻し	・転圧時に足を挟む。	6	2	8	3	・二人で、足元を確認しながら作業する。	作業者	6	1	7	2				
13. 作業終了時の確認	・他の作業員が開口部に立ち入り、転倒、転落する。	6	2	8	3	・柵開口部の養生確認。	職 長	6	1	7	2				

<https://www.sekouya.com>



作業
区分

作業の手順

<https://www.sekouya.com>

考

1. 機械器具等の

後
2. 残材等の片付け

きる。

・飛散してきた残材でケガをする。

・飛散養生を行い、細かな物は容器に入れる。
・産業廃棄物は所定の場所に集積する。

作業者

3. 仮設設備等の片付け

・使用後の点検を怠り、再使用时思わぬケガをする。

3 4 7 2

・点検を行い、不良品は担当者に連絡し、場外に搬出する。

職 長

3 2 5 2

・開口部の養生復旧を怠り墜落する。

・取り外した養生材は必ずもとに戻す。

付

4. 立入禁止措置の整備

・残工事が有るにも関わらず、立入禁止を明確にせず他の作業員がケガをする。
(残工事が有る場合)

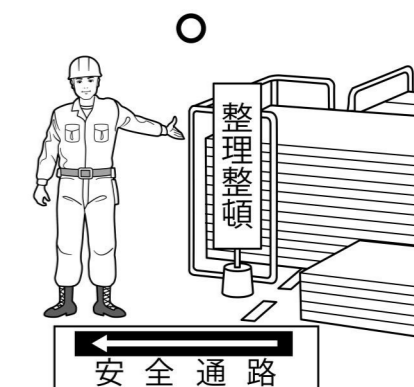
10 4 14 5

・残工事が有るときは、他の作業員にも解る明確な表示とバリケード等で区画を行う。

職 長

10 2 12 4

け



作業区分	作業の手順	予想される災害の要因	重篤度	可能性	見積り	優先度	危険性・有害性の防止対策	実施者	重篤度	可能性	見積り	優先度	備考
後片付け	5. 立入禁止措置の解除						・バリケード等危険標識を取りはずし、所定の場所に片付ける。	職 長					
	6. 確認	・仮設分電盤端子接続機器から漏電、感電する。	6	2	8	3	・電源は盤内スイッチが切れていることを確認する。	作業者	6	1	7	2	
		・取りはずした安全施設を復旧し忘れ、他の作業員がケガをする。					作業主任者						
	7. 作業終了の報告	・つまずきケガをする	3	2	5	2	・作業場所の整理・整頓および清掃を確認する。	職 長	3	2	5	2	
・元請担当者に作業終了の報告を行う。							職 長						

<https://www.sekouya.com>